

代議員の皆様方へ

『塩野町地域まちづくり協議会』

定期総会の開催

塩野町地域まちづくり協議会も発足9年目を迎えます。日頃、多大なるご支援・ご協力をいただき、本当にありがとうございます。

下記のとおり、定期総会を予定しております。

■日時:4月11日(土)午後5時から

■会場:朝日みどりの里 食堂

※日程等に変更があった場合は、改めてご連絡いたします。

地域の行事

3月

24日 小学校卒業証書授与式
25日 保育園卒園式
31日 入学祭(早稲田)

4月

3日 大須戸能定期能
7日 さくら小学校入学式
朝日中学校入学式

5月

5日 蒲葎神楽
7日 荒沢蔵王権現様参拝(荒沢)
23日 さくら小学校運動会

6月

下旬 大須戸さくらぼ祭り

7月

14日 早稲田神楽(天王様)
15日 原小須戸・本小須戸神楽

※開催時間などは、各集落まちづくり役員にお問い合わせ願います。

編集後記

例年であれば「寒い冬も終わり」と書き始めるところですが、こんなに暖かい冬はこの地域に生まれて初めての経験でした。少雪の影響でどんど焼きなどの行事の日程が変更になった地域もあったと聞きます。

また、ニュースや新聞で報道されている新型コロナウイルスの感染拡大も心配です。これから春を迎え、外に出かける機会も増えると思います。予防しながら春を楽しみたいですね。

原小須戸 渋谷真一



発行:塩野町地域まちづくり協議会
編集:ほっとニュースステーション
連絡先:朝日支所地域振興課自治振興室(事務局)
TEL 72-6881 FAX 72-0328
E-mail as.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp
URL(ホームページ) http://www.city.murakami.lg.jp



山古志地区 アルパカ牧場より
中越地震後、アメリカのコロラド州から贈られた
アルパカが始まり。

Q&A によるリレー人物紹介

まちづくりの輪

Vol.20



おだ ひでゆき
小田 英幸さん(塩野町)

Q①趣味は? → A①最近料理を作る事にはまっています。

Q②地区の魅力は? → A②山や川がすぐ近くにあり、自然が豊かなところだ。

Q③どんな地域になってほしい? → A③伝統の行事やイベントなどをいつまでも絶やさない賑やかな地域になって欲しいです。

Q④そのためにどうしたら? → A④地域の行事に参加して伝統を守っていく事が大切かなと思います。

Q⑤地域のおすすめスポットは? → A⑤塩野町小学校です。今は合併してしまったけど、自分が育った小学校なので特別な場所です。今後何かで活用されたら嬉しいです。

Q⑥好きな郷土料理は? → A⑥大海です。

Q⑦バトンを渡す次の人は? → A⑦大須戸の菅井大樹さんです。

地域外転出者へ通信を送付いたします。

地域外へ転出された塩野町地域内出身者で、ご希望の方に当通信を送付します。
ご親戚・ご友人など送付のご用命の方は、協議会役員または事務局にご連絡をお願いいたします。

地域の出来事については塩野町地域まちづくり協議会のHP(ホームページ)でも紹介しています。

塩野町地域まちづくり協議会 をクリック!



QRコードはこちら

まちづくり通信

— 協議会の理念 —
交流と助け合いを通じて
いつまでも住み続けられる
固有の環境を整える

第32号 令和2年(2020年)3月15日発行

令和元年 オサトサマ



数日前に降った雪が道端に残る中、江戸時代八代将軍徳川吉宗の時代より300年以上続いていると伝えられているオサトサマ。今年は未婚のシメカツギの誕生や、タルカツギの担ぎ手最高年齢更新など色々ありました。

晴天の空の下、地域の皆様方からお力添えをいただき、多くの区民・カメラマンに見守られる中、無事奉納できました。本当にありがとうございました。特に、注連縄の出来不出来を左右する稲わらを提供していただいている方には、毎年お世話になり、感謝しております。

少子高齢化・後継者不足と言われている中、地域の皆様方のお力をお借りして継続していきたいと考えております。

化粧をしますので、素顔はわかりません。興味のある方は連絡をください。担ぎ手になるチャンスがあります。

塩野町 小田与司夫



冬の伝統行事 塞の神・どんど焼き・ホイホイ



早稲田壮年会が開催しているサイノカミを1月12日に行いました。

記録的な少雪により開催場所を変えたり、火入れ役となる方(還暦や厄年の男性)が集落内に居らず、年男の方に頼んだり…。色々ありましたが、なんとか無事に終わることができました。ご参加いただいた集落の皆さんにも楽しんでいただけたようで何よりでした。

年を追うごとに、人員など難しいところがでてきていますが、出来る中で続けていければと感じています。

早稲田 富樫一聡



1月19日大須戸集落のどんど焼きが開催されました。早朝から小学生と父兄が各家を回ってわらや正月飾りを収集。少雪で雪の無い会場で大先輩方に教わりながら2体の塞の神を作り上げました。

午後3時半、皆が見守る中、今年の恵方の西南西に向かって火入れ。火の粉が舞う幻想的な雰囲気の中、炙ったスルメを肴に、竹で燗にしたお酒を味わいながら、集落の無病息災、五穀豊穡を祈りました。

大須戸 中山国雄

長いこと続いている小正月行事どんど焼きが1月13日に行われました。正月のお飾り、お札や習字などを竹で組んだ櫓の中へ入れ点火。残り火でお餅を焼いたり、スルメを焼いたり、ご相伴にあずかたりします。老若男女いろんな年代の方々とコミュニケーションが取れる集落行事の一つとして、また、皆の思い出に残る集落行事の一つとして、今後も協力・継続していけたらと思います。

本小須戸 齋藤 仁



荒沢では毎年旧暦の小正月頃に「ホイホイ」を行います。「今年は雪が積もらねなあ」と思っていたら、2月9日はご覧のように雪景色になりました。竹を組んだその中にわらを積み、正月飾りやお札などを入れて周りを萱(かや)や藁(す)で囲って準備完了。

午後4時点火。炎が勢い良く上がって青竹の破裂音が鳴り、「ホイホイ」の声がかかります。各自スルメを焼いたり、お神酒やジュースが振舞われました。

荒沢 小林一博



視 察 研 修 報 告

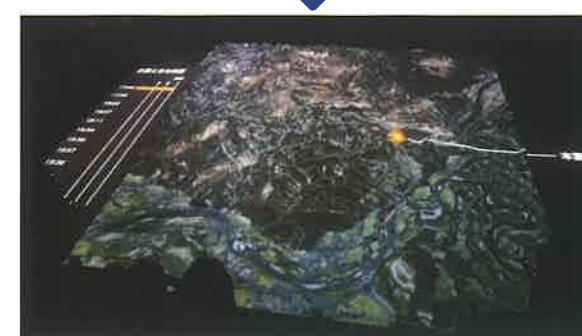
11月23日(土)、舘腰・三面地域まちづくり協議会と合同で中越地震から15年が経った長岡市の山古志地区へ視察研修へ行き、やまこし復興交流館おらたるにて、語り部(旧山古志村役場職員)から当時のお話を聞かせていただきました。

講話の中で最も印象的だったのが、地震が発生して避難するまで、逃げ遅れる人もいなくて比較的スムーズに行えたという話です。その要因として、住民それぞれが集落の人の事を良く知ってい

た事を挙げられていました。「あそこの母ちゃん、この時間は家の居間にいるから見てきて!」といった感じで声かけをして、地震で歪んだり崩れたりした家屋から動けなくなった人を外に連れ出していったそうです。普段のコミュニケーションが災害時の備えになる。自分はどれくらい集落の人の事を知っているのだろうか考えさせられるお話でした。



語り部による講話



おらたる 展示室にて
プロジェクションマッピングで中越地震の記録を辿る



山古志復興交流館 おらたる 前にて

長岡市山古志地区(旧山古志村)へ視察研修へ行き、平成16年10月23日に発生した中越地震当時の話を語り部の方から聞いてきました。

情報が完全に遮断されてしまった時の様子や、安否の分からなかった家族が無事だったと知った時の安堵感、土砂崩れにより集落が孤立し全村民(当時約2200人)が長岡市内各地に避難した時の様子、避難所や仮設住宅での生活の様子など。当時を知る語り部の話は大変重みが有り、非常時での家族や集落の人達との「つながり」の大切さを痛感しました。

大須戸 中山好栄



河道閉塞により水没した古籠(こども)集落。たい積した土砂で1階部分が埋まってしまった家屋が今も保存されている。

